



横浜市立城郷小学校  
明治 33 年 6 月 創立

# 学校だより

めざす子ども像

令和 4 年 2 月 25 日  
3 月 号



ともに学び、よりよい生き方を見つけ出す しろさとっ子

◆学校だよりはホームページにも掲載されています。右の QR コードからもご覧になれます◆



## ありがとう

こうちょう さんべい あつし  
校長 三瓶 淳

2月上旬に花壇のそばを歩いていると突然目の前に、2羽のメジロが飛んできました。つがいなのでしょう。幾つかの花壇を渡りながら、草花を仲良くついでにいました。ひとしきり食事をした後は、校庭を横断し、校舎の向こう側へ追いかけてくるかのように飛び去って行きました。城郷小学校の周囲は、自然豊かなところだと改めて感じさせてくれるとともに、野鳥にも安心して住める場所なのだと感じました。心が癒されますね。

さて、昨年3月下旬にこの伝統ある城郷小学校の門をくぐってから間もなく1年が経とうとしています。この1年もコロナ禍の中での学校経営となり、ひと月先の行事や授業内容も予定を組んでは、中止や延期、変更等を余儀なくされ続けました。そればかりか、保護者や地域との出会いやつながりもままならぬ状態で、悩み、寂しく感じる時も多くありました。しかし、そのような中でも、本校の子どもたちは、下を向くことなく『今、出来ることに力を発揮』し、周囲にエネルギーを分け与えてくれました。運動会は本番が一番よく出来ていましたが、暑い中でも何度も繰り返し演技練習する姿に感動しました。高学年の宿泊学習や修学旅行では、相手(仲間)意識を高くもち、学年が一体となって行動し、楽しむ様子を目の当たりにした私は、幸せさえ感じました。また、『素直さ』も大きな魅力です。朝会で「挨拶の正しい仕方」を話す翌日からどんどん実行する子が増え、今は相手の目を見るばかりではなく、立ち止まってお辞儀する子が本当に多くなりました。ポケットに両手を入れたり、フードをかぶって歩いてきたりする子たちも挨拶するときは、手を出したりフードを取ったりします。可愛いですね。中休みはドッジボールをする子どもたちが多く、場所は早いもの勝ちなのですが、いつも高学年が使っている場所を中学年以下が先に使っていたら、高学年は別の場所に移動します。優しいです。このような雰囲気は、後輩たちへ順に引き継がれていくのだと感じています。

地域の方からは、「卒業生がたくさん住んでいるこのまちは、城郷小学校に愛着を感じている人が多い。『城郷小学校は、すごく楽しかった。』と思える授業をたくさんして欲しい。」という内容のお手紙をいただきました。また、歴代PTA役員経験者で組織している「いちょうの会」が、学校をしっかりと支えてくれている事もありがたいものです。学校と地域が関わり合う行事の半分以上もまだ行えていない状態ですが、温かさや**ありがとう**はいつも感じています。感謝しかありません。

最後になりますが、学校だよりが配布される時点まで、本校は学級閉鎖を1クラスも出す事なく、子どもたちの学びが続いています。これも当たり前のように見えますが、保護者の皆様の感染症拡大防止に対する最良の判断によるものと感謝しています。このまま卒業式や修了式に向かっていきたくないと教職員一同願っています。今までのたくさんの「**ありがとう**」を胸に・・・